

# 聴能だより

新潟県立長岡聾学校支援部

0258(38)0200(聴検室直通)

tyounou@nagaokarou.nein.ed.jp

令和 7年 1月 30日

## 冬も補聴器、人工内耳の手入れをお願いします！

冬は室内外での気温差や暖房により室内の空気が乾燥しているため、補聴器や人工内耳にも厳しい季節です。実は冬も故障が起こりやすいのです。原因の多くは、寒さと、暖房器具、室内外での温度差によるものです。どんなことに注意すればいいのでしょうか？



### けつろ 結露 に注意しましょう！

寒さで補聴器や人工内耳が冷えていると、耳との温度差や屋外と室内の温度差が生じます。この温度差により補聴器や人工内耳本体、電池、イヤモールド、チューブなどいろいろなところに結露が起きて、トラブルの原因になります。

補聴器の調子がおかしい、音が出ないというときは、まずHAメンテナーなどで乾燥してみましょう。それでも症状が続くときは、補聴器店でみてもらうようにしましょう。きこねルームには、月曜日-ニイガタエイド、火曜日-リオネット、月1回程度の木曜日-マキチエの各業者さんが昼休みに来校していますので、点検してもらうこともできます。

乾燥剤は補聴器店で販売しているものを使いましょう！

#### ○乾燥ケース、乾燥器、使ってますよね。

補聴器や人工内耳を長時間外すときは、乾燥ケースや乾燥器に入れて、湿気を取りましょう。その際、効き目のある乾燥剤かどうか、効果の「あり、なし」を示すシールの色の確認も忘れずに。



青は○、ピンクは×

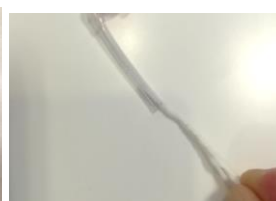


#### ○チューブ内にも結露します。

補聴器のチューブ内にも結露が起きます。イヤモールドやチューブ内にたまってしまうと、ちょうど水滴で栓をした状態になり、音が聞こえなくなってしまいます。



エアブロー↑

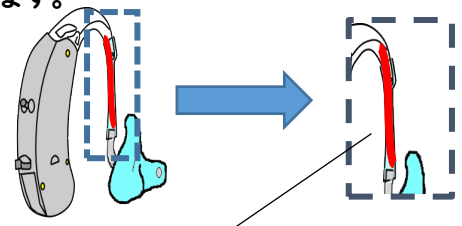


こより↑

水を抜く方法としては、エアブローで水を飛ばしたり、

ティッシュの「こより」で水分を吸い取ったりする方法があります。

★木綿糸をチューブ内に垂らし、水滴を吸い上げるようにするのも効果的です。



チューブ内に糸を入れます

## 補聴器電池の使用時間が短くなる原因

### ① 低温 (5度以下ではうまく放電できない場合があります)

補聴器の電池は気温が低いと本来の性能を発揮しない場合があります。冬の朝など補聴器の電池が冷たく感じるときは、しばらく手で暖めてから使うと良いです。



### ② 低湿度 (湿度60%が最適)

補聴器電池は電池本体の小さな穴から酸素を取り込んで放電しますが、同時に微量の水分も必要とします。乾燥した部屋では補聴器の使用時間が短くなります。



### ③ 低酸素濃度 (二酸化炭素が電池を劣化させます)

補聴器電池の放電に必要な酸素が不足すると電池寿命が短くなります。ストーブやファンヒーターなどの暖房器具を使用している場合はこまめな換気が必要です。

## 耳は気温の影響を受けやすい！

補聴器だけではなく、耳も寒さに影響されやすいものです。体の他の部分とは異なり、耳には体を暖かく保つための脂肪層がありません。そのため、寒い屋外にいるときに、耳が最も速く冷えるのです。

寒さによる血流の悪化で生じる一般的な症状は、耳鳴り、耳垢の増加、むくみなどがあります。

また、寒い時期は一般的に体調を崩しやすい時期でもあります。暖かい季節に比べて、風邪やインフルエンザなどが増え、急性中耳炎を引き起こすことがあります。

難聴があるなしにかかわらず、ぜひ、体を温める食事や十分な睡眠をとるなどして、体調を整えてください。

補聴器をしている人は、外出する際、帽子やマフラーなどを使用して、耳と補聴器の両方を寒さから守りましょう。

